

日本の気象 ～ “驟雨” “雷” ～

○驟雨 (yuudachi)

是夏天的晴天, 从下午到傍晚, 一时性下的大雨, 有时有打雷。《驟雨突降临, 赶紧躲缩草叶后, 一大群麻雀 (murasuzume)》(夏天的下午, 突然下了起驟雨。麻雀们感到很为难, 缩成一团隐藏在草叶背阴下。) 这是江戸时代的俳句诗人与谢芜村感到很有情趣而创作的驟雨诗, 令人遗憾, 最近受异常气象的影响, 在五月~六月也会下驟雨, 近年的驟雨已经没有情趣, 并且大多是恶劣性的突然暴雨。

○雷

从以前受到落雷灾害的地方以及东西成为信仰的对象并不稀奇, 另外, 由于大多会伴随着下雨, 雷与担心气候的农业有很深的关系, 在这一点上也可说宗教性的关系也很强烈。

在京都的北野天満宮, 每年6月1日举行除雷大祭活动。这是由于以前打雷多的一年, 大多是雨水多, 大丰收, 相反的一面, 落雷的灾害也增多的缘由, 因此, 它是祈祷一年五谷丰收和落雷少, 从平安时代开始举行的有历史渊源的祭祀活动。

日本の気象 ～ 『夕立ち』 『雷』 ～

○夕立ち

夏の晴天の日の午後から夕方にかけて一時的に降る強い雨で、雷を伴うことがあります。『夕立や草葉をつかむ群雀 (むらすずめ)』(夏の午後、急に夕立ちが降ってきた。雀たちは困って草葉の陰に隠れて縮こまっている。) と江戸時代の俳人と謝蕪村も風情を感じて詠んだ夕立ちですが、残念ながら最近では、異常気象の影響により、5~6月にも夕立ちが見られるようになり、近年の夕立ちはもはや風情のあるものではなく、悪質なゲリラ豪雨の形を取る事も多くなりました。

○雷

古くから落雷の被害にあった場所や物が信仰の対象となることも珍しくなく、また雨を伴うことが多いため、雷は天候を気にする農業とも深くかかわりがあり、この点でも宗教的な結びつきが強いです。

京都の北野天満宮では毎年6月1日に雷除大祭が行われます。これは、古くより雷の多い年は雨が多くなり豊作となることが多い反面、落雷の被害も多くなることから、一年の五穀豊穰と落雷が少ないことを祈願するもので、平安時代から行われている由緒あるお祭りです。